

## 管内研お疲れ様でした！ ～チーム浜鬼、力の限り～

管内研に向けた長い長い準備、当日の授業や協議、本当にお疲れ様でした。授業に向け、何度も指導案を作成し、事前の授業から試行錯誤を繰り返した授業者の藤森先生、岡山先生、また、2人の研究授業のため、事前の準備に惜しむことなく力を貸して下さった浜鬼の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の管内研で一番素敵に感じたことは、先生方が自分たちで活発に意見を交わし、相談をしたり、意見を深め合ったりしているその姿です。正に「考えを伝え合い、根気よく、問いを解決する」という研究主題を私達自身が体現できていたと思います。周りの大人がその姿を示すことで、子ども達も自ずと成長していけるのかもしれないですね。



↓チーム浜鬼。  
学校一丸となって  
研究に臨んで下さり  
ありがとうございました。

## 研究授業、協議をふいかえって ～管内研を経て、得た学びとは～

### 【1・2年生 授業・協議の様子】

中山主査が、2年生が導入で練習プリントに取り組んだ後、自分たちで解決し合っている姿を絶賛していました。「自分の疑問を友だちに問いかけられるようになることが、学び合いの始まりになる。これが大事なキーワードでした。」



### 【3・4年生 授業・協議の様子】



ワークシートやヒントカード、半具体物など間接指導時の手立ての充実が話題となりました。教育大旭川校の谷地元先生からは、「問い」を持たせるか工夫をすることが大切だという話がありました。